

## 主日礼拝式順

## 【神の招き】

前 奏  
招 詞  
賛 美  
罪の告白  
赦しの言葉  
頌 栄

ホセア書 12:7  
1 5 「我らのみかみは」  
（「礼拝の手引き」をごらんください）

5 4 5 「父の御神に」

## 【神の言葉】

祈 禱  
聖書朗読

旧 約 創世記 22: 9-14(旧 P. 31)  
使徒書 ヘブライ人への手紙 10:19-25(新 P. 413)  
福音書 ヨハネによる福音書 18:28-40(新 P. 205)

「真理とは何か」 清弘剛生牧師

説 教  
沈 黙  
賛 美

2 2 8 「ガリラヤの風」

## 【感謝の応答】

使徒信条

（「礼拝の手引き」をごらんください）

祈 禱

献 金

主の祈り

（「礼拝の手引き」をごらんください）

聖 餐

## 【派遣】

報 告

頌 栄

祝 福

後 奏

5 4 3 「主イエスのめぐみよ」

## ——牧師室より——

## 「受難週に入りました」

今日から受難週に入ります。エルサレムに入城されたキリストが十字架にかけられ葬られるに至る一週間です。今年はなんという特別な受難週を与えられたことでしょうか。その最初の日、イエス様がエルサレムに入城した日に当たる「棕櫚の聖日」に私たちは集まって礼拝を捧げることができません。そして、それから一週間後、キリストのご復活を祝う日にも、私たちは集まって祝うことができません。そのような特別な受難週がここから始まります。

いや、本当は集まって礼拝を捧げることができることの方が、特別なことだったのかもしれませんが。ボンヘッファーはこう言っています。「教会がこの世において神の御言葉と聖礼典とのために、見える形で集まることをゆるされるのは神の恵みである。すべてのキリスト者が、この恵みにあずかるわけではない。監禁されている者、病人、散らされて孤独でいる者、異教の国々で福音を宣教する者は、孤立している。目に見える形の交わりが、恵みであることを、この人たちは知っている」。私たちは今、恵みが恵みであることを知らされているのです。

ならば私たちは集まることのできないこの時を、本当に大切にしなければなりません。主は、このような受難週において何をお語りくださるのでしょうか。体は離れていても、共に御言葉に聞きましょう。同じ御言葉に耳を傾けましょう。この特別な受難週のために「受難週・日毎の糧」という小冊子を用意しました。どうぞご活用ください。そして、たどるべき道をたどって、体は離れていても共に祝うことのできる復活祭にたどり着きましょう。（清弘剛生）

見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。

詩編133:1

## ——次週主日礼拝—— 4月12日 復活祭

説 教  
聖 書

「恐れることはない」 清弘剛生牧師  
旧約聖書 出エジプト記 14:15-18  
新約聖書 ローマの信徒への手紙 6: 3- 4  
マタイによる福音書 28: 1-10

讃美歌

1 5 4 (1, 3), 5 4 5, 1 4 8 (1, 3), 5 3 9

## 今週の祈りの課題

①このような形で受難週が与えられたことの意味を深く思い巡らし、主が何を望まれているかを悟ることができるように。

②世界中の教会においてこの復活祭に洗礼を受けられる方々のために。